

IoT向けWi-Fi規格「IEEE802.11ah」のフィールドトライアル実施

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、北陸先端科学技術大学院大学（学長 寺野 稔）、加賀市（市長 宮元 陸）、西日本電信電話株式会社（代表取締役社長 小林 充佳）、802.11ah推進協議会（会長 小林 忠男）及び北陸情報通信協議会イノベーション部会（部会長 丹 康雄）とともに、令和2年7月27日（月）から31日（金）まで石川県加賀市の奥谷梨園において、「IEEE802.11ah」（以下、「802.11ah」という。）の実用性評価を目的とした、農業フィールドにおけるフィールドトライアルを実施しました。

これは、西日本エリア初の取組であり、農業分野においては全国初の取組です。

7月28日（火）には、選果場に無線アクセスポイント、ほ場にカメラと接続した無線端末を設置し、802.11ah を活用した映像伝送試験を実施しました。

この試験では、従来のIEEE802.11nは140m程度で動画伝送が切断されましたが、802.11ahは500mを超えて動画伝送ができました。

また、フィールドトライアルの様子は、マスコミにも公開され、地元のテレビや新聞でも大きく報道されました。

次のフィールドトライアルは、季節によって環境が変わる農業フィールドを活用して802.11ah のスループットや電波伝搬の特性の評価を行うため、12月に実施する予定です。



<フィールドトライアル実施に関する記者会見>



<映像伝送試験の様子>



<実証実験のイメージ>

お問い合わせ先
北陸総合通信局電気通信事業課
076-233-4420